



昭和30年代の与論島、撮影：稲見輝男



島の自然と暮らしのゆんぬ古写真展 vol.1

～運ぶ～

2022 2.24(木)～3.10(木)
与論町役場 1階ロビー

(土日はお休みいたします)

与論島は、自然の恵みを活かした暮らしを大切にしてきた島です。令和3(2021)年6月、総合地球環境学研究所LINKAGE（リンケージ）プロジェクトでは、地域の方と一緒に、自然とともに生きてきた知恵や暮らしの移り変わりに関する歴史文化資料の収集と記録に取り組み、島の未来のあり方を考える市民参加型の協働研究を始めました。

その中で2022年2月1日より、昭和30年代から現在にいたる島の暮らしの変遷を伝えるものを中心とした写真展を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期となってしまいました。そこで、写真展の一部を役場1階ロビーでご紹介することにいたしました。写真の中には、詳しくはいつの、何をしているものなのか、わからないものがたくさんあります。ぜひ、いろんな世代の方に見ていただき、情報提供いただければと願っています。古写真調査をとおして、島が歩んできた歴史や文化について一緒に語りませんか。

主催：総合地球環境学研究所LINKAGEプロジェクト

共催：与論町教育委員会、国立歴史民俗博物館メタ資料学研究センター、
ゆんぬピシパナ調査隊、NPO法人海の再生ネットワークよろん、与論民俗村

問い合わせ：ゆんぬ古写真展事務局 (yunnu2020@gmail.com)